

令和5年第5回三芳町議会定例会 一般質問通告書

質問順序・質問者及び質問要旨

順序	質問者	質問要旨	質問内容	質問の相手
1	菊地 浩二	1 三芳町の安全な交通環境について	<p>1) 町はこれまで幹線5号線及び幹線17号線のスクールゾーン解除に向けて取り組んできたが、現在の進捗状況は</p> <p>2) 町は今でもこのスクールゾーンを解除すべきと考えているか</p> <p>3) この2つの路線に限らず町内道路には通称：車止めといわれる白や黄色の鋼製ポール（ボラード）や赤白のラバーポールが相当数立っている。ポールの種別により用途や目的が違うはずだが、三芳町ではボラードとラバーポールをどのように使い分けているか</p> <p>4) ボラードと防護柵はどのように使い分けているか</p> <p>5) ボラードの設置基準は</p> <p>6) ボラードの設置方法は</p> <p>7) ボラードには「車両の衝突に対して抵抗しない」N型ボラードと「車両の衝突に対して抵抗する」H型ボラードの2種類がある。歩行者の安全を確保するための設置のはずだが、耐衝撃性のないN型ボラードを537本も設置した理由は</p> <p>8) 公益社団法人日本道路協会「ボラードの設置便覧」では、ボラードは「主として交差点における、横断歩道開口部（接続部）及び隅切り部に設置し、車両の歩道への進入による第三者の人的被害を防ぐことを目的とした施設」とある。三芳町では歩車道境界にも多く設置されているが、用途として適切と考えているか</p> <p>9) 耐衝撃性のないN型ボラードを広い間隔で設置して、歩行者の安全を守れるか</p> <p>10) ボラードの設置に関しては様々な歩行者への配慮も求められている。ボラードがあることで歩道の有効幅員が60数cmしかないところもあり、例えば、車椅子利用者、シニアカー、杖使用者、自転車を押して歩く歩行者などはグリーンベルト上を歩けなくなっている。新たなバリ</p>	<p>自治安心課</p> <p>道路交通課</p>

			<p>アを生むことになっており、ボラードをよけて車道を通行しなければならない危険性をどのように考えているか</p> <p>11) このボラードの設置によりボラードに衝突する車両の事故は後を絶たない。どのように考えているか</p> <p>12) 誰にとっても安全な交通環境が必要だが、今後も耐衝撃性のないN型ボラードや有効幅員の狭い歩道でもボラードを維持していくか</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>
		2 適正・適切な入札について	<p>1) 近年の円安、インフレ、資材高騰、人手不足等の社会状況の変化等により、入札結果に変化はみられるか</p> <p>2) 入札では辞退や入札書不備、入札参加者が規定数に満たず不調・不落が見受けられるが、要因をどのように考えているか</p> <p>3) 最低制限価格が設定されていない入札で、入札した全ての業者が予定価格を大幅に下回った入札や、逆に予定価格を大幅に超過した入札がある。そのような入札では、設計額の積算は妥当であったと考えるか</p> <p>4) 時間外労働の上限規制での2024年問題により深刻な人手不足が懸念されている。この2024年問題が入札に与える影響をどのように考えているか</p> <p>5) 社会状況の変化に左右されない安定した入札を実行していくためにはどのような対応をしていくか</p>	施設マネジメント課
2	桃園 典子	1 環境問題を見据えたどうぶつ基金の活用について	<p>1) 令和3年第7回定例会での答弁以降、どうぶつ基金の活用に関する町の検討状況は</p> <p>2) 飼い主のいない猫と環境問題について</p> <p>①繁殖による地域環境の悪化をどの様に捉えているか</p> <p>②繁殖抑制の手術費用が住民の善意に任されている現状をどう捉えているか</p> <p>3) 全県的にどうぶつ基金の登録自治体が大幅に増加していることは地域共通の住民ニーズの表れと考えるがどうか</p> <p>4) 動物愛護推進員や町内の猫ボランティアとの意見交換会を実施してはどうか</p>	環境課

		<p>2 水道管路の維持管理について</p>	<p>5) 猫ボランティア個人でもさくらねこチケットが活用出来るよう行政枠としての支援体制を構築してはどうか</p> <p>1) 町への相談について ①苦情等の相談件数の推移（過去3年） ②赤水の原因は ③赤水の根本的な改善の為に今後検討していることは ④布設替えの際に配水管経路の改善をしてはどうか</p> <p>2) 配水管の現状等について ①不明水の割合は ②町内の配水管の布設年数は ③布設替えの判断基準は ④判断基準に対しての例外があるようだが理由は ⑤現在の管路の劣化診断の方法は ⑥A Iを活用しての劣化診断を検討してはどうか</p> <p>3) 配水管の更新について ①ダウンサイジングの必要性についてはどう考えるか ②財源は充分か</p> <p>4) 安定的な更新工事の財源確保の必要性について ①企業参加型のマンホールを作成してはどうか ②企業参加型の三芳の飲料ボトルを製造してはどうか</p>	<p>町長</p> <p>上下水道課</p> <p>町長 上下水道課</p>
		<p>3 教育センターにおける教育相談について</p>	<p>1) 教育相談の件数は（令和5年4月から現在まで） ①教育支援室では ②教育センターでは</p> <p>2) 町費のスクールソーシャルワーカーの勤務体制はどの様になっているか</p> <p>3) 臨床心理士・スクールソーシャルワーカーとの情報共有やアセスメントが重要と考えるか現在の状況は</p> <p>4) 保護者が心理専門員等に相談しやすい体制作りや周知等の環境整備を検討しては</p>	<p>教育センター</p> <p>教育長</p>

		4 庁舎周辺の環境整備について	<p>どうか</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 第1駐車場から文化会館コピスみよしまでの区間は夜間暗く危険であることからソーラー式のフットライトか照明 灯を設置しては 2) 総合運動場横のトイレ入口の階段横へ手すりを設置してはどうか 	<p>町長 施設マネジメント課</p> <p>文化・スポーツ 推進課</p>
3	牛丸 藍子	<p>1 校則の現状について</p> <p>2 校則の存在意義</p> <p>3 制服について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 当町における校則制定のプロセスはどのようなになっているか 2) 校則の見直しの必要性について教職員からどのような意見が上がっているか 3) 過去3年間で校則に関する意見交換会や研修等に参加した教職員は何名いるか 4) 生徒の心身の健康面や安全面について専門的な知見を持つ養護教諭の見解を伺うなど、専門的な視点から校則を見直す努力をしているか 5) 現在当町の中学校はいずれもホームページで校則が公開されていない。今後公開する予定は <ol style="list-style-type: none"> 1) 校則の法的根拠は 2) 文部科学省は、校則は学校が教育目的を達成するために必要かつ合理的範囲内において制定することができるものと定義しているが、各学校の教育目的の達成に必要な不可欠な校則はあるか 3) 文部科学省の定義が校則制定の根拠であるならば、現行の校則は教育目標の達成に必ずしも必要不可欠なものではないと考えるがいかがか 4) 現行の校則は生徒や保護者にどのようなベネフィットを与えるものと認識しているか 5) 校則も仕分けによりスリム化することで合理的な指導ができると考えるがいかがか <ol style="list-style-type: none"> 1) 制服と私服の選択制について保護者アンケートは実施したか 2) 当町の中学校の制服について、標準服と 	<p>教育長 学校教育課</p>

		<p>制服の表記が混在しているが、どのように認識しているか</p> <p>3) 中学校においては制服は着用義務があるか</p> <p>4) 教育支援室「らるご」においては制服の着用義務があるか</p> <p>5) 制服を着用しないことで評価や生活指導上のペナルティは存在するか</p> <p>6) 着用が義務ではないのであれば私服で登校するという選択肢もあり得ると考えるか</p>	<p>4 その他学校指定品について</p> <p>1) 保護者の負担についてどのような研究がされたか</p> <p>2) 制服・学校指定品による各家庭の負担について、どのように認識しているか</p> <p>3) 保護者の要望等に合理的理由があれば対応すべきと考えるか</p> <p>4) 学校指定品を定めなければ校長の権限で指定や指導が必要なものではないか</p> <p>5) 通学靴・上履き・体育館シューズ等はその用途に適しているものであれば、学校指定品ではなく自主選定にして差し支えないと考えるか</p> <p>6) 自主選定にすることで各自の体格や体質等に合ったものを選ぶ事が出来、快適な状態で教育を受ける事のメリットは大きいと考えるか</p>	
		<p>5 生徒会は自治組織として機能しているか</p>	<p>1) 生徒会の主体は当然生徒だが、教職員はどのような立ち位置か</p> <p>2) 生徒会選挙において校則に言及する公約を制限する記載のあるプリントが配布されている学校があったが、生徒会本部役員選挙規定に記載のない事が教職員の意思で加筆される事は自主的・民主的な組織への介入と考えるか</p> <p>3) 生徒総会での発言は学級討議で予め絞られ、その他の意見については生徒会役員と教員で作成した文書回答が出される事が1校で確認できているが、3校全てそ</p>	

			<p>のような方法で行われているか</p> <p>4) 質問に対する再質問に対応しているか</p> <p>5) 生徒総会での答弁は生徒会役員のみで考え対応し、教職員は別で回答すべきと考えるかいかか</p> <p>6) 形式的な意見表明の場にするのではなく、学校運営に関わる当事者になれる生徒総会の実現を目指すべきと考えるかいかか</p> <p>7) 令和4年6月定例会一般質問において、校則や生活指導の在り方に子供たちの参画を規定した熊本市のガイドラインが例示されたが、当町でも導入を検討しているか</p>	
4	吉村美津子	<p>1 公立小学校・中学校の統廃合問題について</p> <p>2 三芳スマートICへの車種拡大車の通行はやめることについて</p>	<p>1) 学校再編等審議会</p> <p>①教育長は2回の審議会開催をどのように受け止めたか</p> <p>②今後、3回の審議会はどのような審議内容で行う予定か</p> <p>③音楽会の見学が予定されているが目的は何か</p> <p>④上富小学校、竹間沢小学校、三芳小学校、藤久保中学校についての統廃合問題は、いつ頃審議を行っていく予定か</p> <p>⑤審議会では、「地域住民の意見を聞いていくべき」との意見があるが、どのように捉え、実行されて行くのか</p> <p>⑥学校の統廃合はまだ決まっていない。審議会では、現状維持の学校存続も審議していくか</p> <p>2) 学校の統廃合問題は住民から出た意見ではない。よってこの計画はやめるべきではないか</p> <p>3) 学校の建設費用は義務教育の施設のため全額国負担とするよう、町は国へ要請すべきでは</p> <p>1) 支出状況について</p> <p>①三芳スマートICに要した総支出額をどう捉えるか</p> <p>②平成23年1月からの総支出額をどう捉えるか</p>	<p>町長 教育長 学校教育課</p> <p>教育総務課</p> <p>町長 総合調整幹 道路交通課</p>

		<p>3 町長の公務日誌について</p> <p>4 広報みよしについて</p>	<p>③2024年度での、工事等の費用や工事等の内容は</p> <p>2) 住民の声について</p> <p>①車の渋滞に対しては</p> <p>②安全対策が不十分、交通事故の心配は</p> <p>③家屋の揺れる問題は</p> <p>3) 車種拡大の大型車通行に対して交通事故から住民をどのように守るのか</p> <p>4) 大型車導入は止める決断で、町民の安全を確保すべきでは</p> <p>1) 視察研修は（仮称）三芳バザール賑わい公園構想の実現に向けてか</p> <p>2) 公務日誌からは福祉施策が見えないが</p> <p>3) 時間の明記をしては</p> <p>1) 広報誌の公平性から広告募集欄は廃止をすべきではないか</p>	<p>町長 政策推進室 秘書広報室</p>
5	長野真寿美	<p>1 学童保育室について</p> <p>2 子育てを応援する祖父母について</p> <p>3 周産期グリーンケアについて</p>	<p>1) 学童保育室の入室審査の基準はどのようなものか</p> <p>2) 現在、どの位の児童が入室していて、定員は何名か</p> <p>3) 藤久保第一は、人数が多そうだが、登室率で第一と第二で分けているのか</p> <p>4) 竹間沢学童は、2室あるが、どの位の人数で2室使用しているのか</p> <p>5) 夏休みはどのような状況か</p> <p>6) 長期休み（春、夏、冬休み）の保育時間は</p> <p>7) 延長保育の受け入れは検討できないのか</p> <p>8) 昼食を民間に委託することはできないのか</p> <p>9) 民間委託について検討したことはあるのか</p> <p>1) 子育て支援で他の自治体では、祖父・祖母も子育て支援に参加するきっかけの為に孫育て手帳（ガイドブック）などが作成されているが、三芳町では存在するのか</p> <p>2) 今後、作成していく予定はあるのか</p> <p>1) 赤ちゃんの流産・死産などを経験された方のケアに関するニーズをどのように把握しているか</p>	<p>町長 こども支援課</p> <p>健康増進課</p>

		4 三芳町教育について	<p>2) 当事者が利用できる制度や相談窓口など、当事者へのケアの体制はどの様になっているのか</p> <p>3) 関連する窓口や保健師などの専門職員の研修体制はどの様になっているのか</p> <p>1) 全国学力状況調査を終えて</p> <p>①全国学力調査の結果などを踏まえた学力向上への取り組みと成果は</p> <p>②小・中学校の学力についてどのように分析しているか</p> <p>③学力の課題があるとすればどのようなことか</p> <p>④どのように学力の向上につなげていこうとしているのか</p> <p>⑤学校では、具体的にどの様な取り組みをしているのか</p> <p>2) 教育委員会について</p> <p>①令和5年度、文部科学省から次長を迎え、どのように発展していくのか。</p> <p>②具体的にどの様な効果があるのか</p> <p>3) 教育大綱策定の進捗状況は</p>	<p>教育長 学校教育課</p> <p>教育センター</p> <p>学校教育課</p> <p>教育センター</p> <p>政策推進室</p>
6	林 善美	1 猫の保護に関する取り組みについて	<p>1) 地域猫の現状は把握しているか</p> <p>2) TNR について町の考えは</p> <p>3) ボランティア団体との連携はとれているか</p> <p>4) 情報連絡会などを開催して、地域猫を見守っている方々をつなげることはできるか</p> <p>5) 埼玉県飼い主のいない猫の不妊・去勢手術推進事業補助金の活用を検討しては</p> <p>6) 埼玉県地域猫活動推進事業費補助金の活用を検討しては</p> <p>7) 猫の多頭飼育崩壊は把握しているか</p> <p>8) 猫の多頭飼育崩壊に至るには様々な原因がある。担当課間で連携が必要となった事例はあるか</p> <p>9) 迅速な対応が必要な事例にはどのように連携をしていくか</p> <p>10) どうぶつ基金を活用して補助金の導入を検討してはどうか</p> <p>11) 猫の保護に対する考え方は様々である。まずは現状を把握し迅速に支援していくことが必要ではないか</p>	<p>環境課</p> <p>町長</p>

		2 埼玉県おもいやり駐車場制度の導入について	<ol style="list-style-type: none"> 1) 当町は協力市町村となるか 2) 導入のメリットをどのように考えるか 3) 高齢者、障がい者、妊産婦やけがをした人などが対象者となる。窓口はどこになるか 4) 対象者への周知方法は 5) 申請から交付までの流れは 6) 町内の協力施設への周知方法は 7) 市町村の役割として適正利用の広報・啓発が挙げられている。マナーを守れない利用者がいた場合の対応は 8) 公共施設における優先駐車区画の整備計画は 	福祉課 施設マネジメント課
		3 有機フッ素化合物について	<ol style="list-style-type: none"> 1) 水道水中の有機フッ素化合物(PFAS)の検査を行うことになった経緯は 2) 検査の結果は 3) 検査は今後も継続して行うのか 4) 町内の公共施設にはP F O Sを含む泡消火薬剤が使用されている消火設備はあるか 5) 町内の商業施設や事業所等にはP F O Sを含む泡消火薬剤が使用されている消火設備はあるか 6) 水道水から有機フッ素化合物が検出された場合の対応は 7) 整備状況を把握する必要があるのでは 	上下水道課 施設マネジメント課 環境課 上下水道課 町長 環境課
7	細田 三恵	1 こぶしの里について	<ol style="list-style-type: none"> 1) ホタル観賞は町の特色としてPRしてきたが、効果としてどのように捉えているか 2) 竹間沢小学校4年生の授業の一環としてほたるの幼虫の放流を行ってきた効果は 3) ほたる育成会が解散したが、会の存続のため町としてできることはなかったか 4) ガーデンツーリズムとして「オープンフォレスト～里山を歩く～」でも「こぶしの里」のPRをしている。こぶしの里ホタル観賞を継続していくための検討は 5) こぶしの里の今後の整備と竹間沢地域の方向性はどの様に考えていくのか 	町長 観光産業課 学校教育課 観光産業課 都市計画課 政策推進室
		2 暑さ対策につ	<ol style="list-style-type: none"> 1) 部活動について 	教育長

		いて	<p>①昨年度に児童・生徒が熱中症で体調を崩した報告件数は（軽症・中等症・重症はそれぞれいくつ）</p> <p>②ガイドラインで定められている「暑さ指数」の測定・判断はどのように行っているか</p> <p>③熱中症を減らすために、どのような暑さ対策を行っているか</p> <p>④熱中症予防のために、「教職員への啓発」を通して、教職員並びに児童への適切な共通理解へと取り組んでいるか</p> <p>⑤スポーツドリンクのペットボトルの持ち込み等、対策に向けた学校のルールの緩和は行われているか</p> <p>2) 学校開放について</p> <p>①土日の学校開放での暑さ対策の管理は</p> <p>②今夏の暑さは尋常ではない。暑さ指数計を備品として備えられないか</p> <p>③暑さ指数計も鍵と同時に貸し出してはどうか</p>	<p>学校教育課</p> <p>文化・スポーツ推進課</p>
		3 ACP (人生会議) の普及・啓発について	<p>1) ACP (人生会議) の重要性をどのように考えるか</p> <p>2) これまでの開催はあるか</p> <p>3) 普及啓発への取り組みとして、どのような課題があるか</p> <p>4) 介護保険事業の一環として参加者に「私の意思表示ノート」の配布をしてはどうか</p> <p>5) 人生会議のホームページを作り厚生労働省作成の動画を活用して視覚的に捉えられる普及啓発をしては</p> <p>6) 人生会議の講演会の録画 DVD を医療機関や薬局窓口等に置いてもらうことも普及啓発に繋がるのではないか</p>	<p>町長健康増進課</p>
8	久保 健二	1 空き家対策について	<p>1) 町、担当課が考える空き家とは</p> <p>2) 各行政区に調査の依頼をかけ実施したが各行政区ごとの空き家件数は</p> <p>3) 調査終了後の取り組みは</p> <p>①調査終了後の町の対応は（現地調査等）</p> <p>②調査の報告との相違点等は（空き家軒数等も含む）</p> <p>4) 町民からの隣地問題を含めた相談は</p>	<p>町長自治安心課</p>

		<p>①相談件数 ②相談内容 ③町の対応した内容及び結果</p> <p>5) 他の自治体では空き家を活用しての取り組みも積極的に行われている件について</p> <p>①当町での実績は ②今後の利活用しての計画は</p> <p>6) 売却等、空き家を処分したい旨の所有者からの相談は</p> <p>①相談件数 ②相談内容 ③成果の実績</p>	<p>政策推進室</p> <p>自治安心課</p>
	2 災害級の猛暑、熱中症対策について	<p>1) 災害級の猛暑、熱中症の対策は</p> <p>2) 熱中症とみられる症状でこの夏に手当、救急搬送等を受けた児童生徒はどれぐらいいたのか</p> <p>3) 個人で持参の水筒だけでは夏場は特に足りないと思うが、水筒の水だけでは足りなくなってしまった際の児童生徒への対応は</p> <p>4) ウォーターサーバー等を各フロア、各教室に設置するなどの対策が今後は必要では</p> <p>5) 今年度、設計委託を予算化しているが町内小中学校体育館への空調設備の設置についてどの程度進んでいるのか</p> <p>6) 「三芳町学校施設個別施設計画」の計画の方針では設置予定時期が遅すぎる。見直し等するべきと考えるがどのように捉えているか</p> <p>7) 1校当たりの空調設備の設置費用はどの程度になると予想されるのか</p>	<p>町長 教育長 学校教育課</p> <p>教育総務課</p>
	3 道の駅、(仮称)三芳バザール賑わい公園について	<p>1) ここ数年話があまり出てこないが計画に対する協議等は進められているのか</p> <p>2) 予定している場所、候補地は</p> <p>3) 施設規模、施設内容は</p> <p>4) 商業施設や、遊戯施設等企业を参入させての施設づくり等は</p> <p>5) 高速バスの有料駐車場等、運営資金、財源確保の計画は</p>	<p>町長 総合調整幹</p>

			<p>④不要となった制服、ジャージ、学用品の利活用状況は</p> <p>⑤学校給食のプラスチックストローを紙ストローにした場合の費用はどのくらいか</p> <p>⑥ストローレス容器等の検討は</p> <p>⑦プラスチックごみゼロ宣言の検討は</p> <p>2) 庁舎窓口業務でのコミュニケーション力向上について</p> <p>①町民或いは職員から聞こえにくさに関する声はあるか</p> <p>②コミュニケーション齟齬によって誤解が生じた事は</p> <p>③手話通訳可能な職員の状況は</p> <p>④手話通訳が必要な場合の対応は</p> <p>⑤よく使われる要件や意思決定の選択肢を示したメニューを窓口を設置する等、高齢者や難聴者への配慮についての考えは</p> <p>⑥音声に見える化する機器の導入等で高齢者や難聴者、聴覚障がい者の方々の支援となると思うがどうか</p>	<p>学校教育課</p> <p>給食センター</p> <p>町長 環境課</p> <p>総務課</p> <p>福祉課</p> <p>町長</p>
10	本名 洋	<p>1 三芳スマート I Cフル化開通について</p> <p>2 地域公共交通計画について</p> <p>3 医療的ケア児等への支援について</p>	<p>1) 三芳スマート I Cフル化地区協議会規約について</p> <p>①「スマート I Cの利用促進方策」を加えた目的は</p> <p>②(3)の定期的なフォローアップの「定期」とは</p> <p>③「フォローアップは、供用後1年経過後速やかに1回実施し、…」とあるが、なぜ1年後なのか</p> <p>2) フル化はまず普通車のみで状況確認が必要では</p> <p>1) 住民の意見をどのように反映させるのか</p> <p>1) 医療的ケア児等コーディネーターの配置など、現状町としての支援体制は十分か</p> <p>2) 18歳以上の医療的ケア者に対しても十分対応できるか</p> <p>3) 県の医療的ケア児等支援センターとの連携は十分とれているか</p>	<p>町長 総合調整幹</p> <p>町長 政策推進室</p> <p>福祉課</p>

		4 町の環境行政について	<p>4) 5年後を目途とした支援センターの市町村移行への対応は</p> <p>1) 特定外来生物の周知・対応について ①オオキンケイギク ②アカミミガメ、アメリカザリガニなど ③アライグマ ア 周知は イ アライグマ、ハクビシンによる被害額は ウ 捕獲後の対応は</p> <p>2) 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術への補助制度を創設しては</p> <p>3) 2050年カーボンニュートラルへ向けた取り組みについて ①2050年カーボンニュートラルへ向けたロードマップは ②気候市民会議の設置についての考えは</p>	<p>環境課</p> <p>町長</p> <p>環境課</p>
1 1	増田 磨美	1 三芳町芸術文化のまちづくりについて	<p>1) 霧島国際音楽祭視察について ①第44回霧島国際音楽祭の視察の目的は ②町の芸術文化推進事業に参考になった点は ③芸術監督や音楽監督の存在をどう考えるか ④将来的に本格的な音楽祭開催に向けて考えていくのか</p> <p>2) みよし芸術祭について ①開催の目的は ②どのような形で町民と連携していくのか ③期待できる効果は ④他地域の芸術祭の取り組みは</p> <p>3) 学校における芸術文化事業について ①文化芸術による子どものための事業の予定は ②児童・生徒に受け止めてほしいものは何か ③当日のみの事業と捉えるか</p> <p>4) 町が誇れる文化と芸術の融合について ①町が誇れる文化と芸術の新たな融合を考えては ②歴史民俗資料館と資料館まつりなどの重要性をどのように考えるか ③古民家の周知と更なる利用を考えては ④町で活動している音楽団体と住民が一緒に目標をもって楽しめる事業を考えては</p>	<p>町長</p> <p>文化・スポーツ推進課</p>

		2 藤久保地域拠点施設整備等事業について	<p>5) 今後の町の芸術文化について</p> <p>①町の芸術文化に対する長期ビジョンをどう考えるか</p> <p>②事業を支えるためには交通アクセスが重要では</p> <p>1) 藤久保地域拠点施設整備等事業の進捗状況について</p> <p>①進捗状況は</p> <p>②7月21日の藤久保小学校説明会への参加者数は</p> <p>③保護者への説明会周知内容と方法は</p> <p>④8月4日の町の体育館会議室での説明会の参加人数は</p> <p>⑤両日の質問の内容について</p> <p>⑥学校検討部会や令和2年7月から8月にかけて行われた町と教育委員会の調整の場でも校庭については話し合われなかったと思うがどうか</p> <p>⑦保護者、住民から出ていた工事中の校庭の使用ができなくなるが代案は</p> <p>⑧保護者、住民への説明会が望まれていたがどのような形で行うのか</p>	町長 町長 施設マネジメント課 教育長 学校教育課 施設マネジメント課 施設マネジメント課 学校教育課 施設マネジメント課 施設マネジメント課 施設マネジメント課 学校教育課
		3 保育の質の向上に向けて	<p>1) 保育所の保育士配置基準について</p> <p>①町の配置基準は</p> <p>②現在の保育士配置状況は</p> <p>③近隣自治体の配置基準は把握しているか</p> <p>④子ども達、保護者、保育士も安心できる保育を行うためには町独自の基準を考えるべきでは</p>	こども支援課
1 2	光下 重之	1 世界農業遺産及び日本農業遺産認定自治体としての不法投棄の取り組みについて	<p>1) 世界24カ国78地域、日本で15地域が認定されており、日本の認定地域は、いずれも日本有数の観光県にある。武蔵野地域の認定にどのような将来展望をもっているか</p> <p>2) 以下に記した個所の不法投棄放置の現状について、この10年、あるいは20年間変化していないのではないか</p> <p>①町道幹線20号線藤久保付近の山林</p> <p>②町道幹線10号線上富付近の山林</p>	町長 観光産業課 環境課

			<p>③町道幹線1号線、同10号線の合流部分付近(上富永久保境橋付近2箇所の山林)</p> <p>④その他、県道さいたまふじみ野所沢線多福寺前交差点上富付近及び町道幹線18号線上富付近(看板多数設置)</p> <p>3) 世界農業遺産の認定基準と評価の視点2 (5) 優れた景観及び土地と水資源管理の特徴の中の「農業システムと周辺環境が一体となった美しい優れた景観があるか」等に触れる恐れはないのか。「トカイナカ」三芳町の「暗部」になっているのではないか</p> <p>4) 国土交通省日本ガーデンツーリズムの「庭園間交流連携促進計画」探訪部門「みよし野ガーデン里山探訪～里山・農・花を巡る旅～」あるいは「未来へ、次世代への継承」を展望しても放置はできないのではないか</p> <p>5) 不法投棄問題の法的関係「廃棄物の処理及び清掃に関する法律＝廃掃法」第5条(清潔の保持)の管理者または占有者責任に依拠している現状は変わっていないのではないか</p> <p>6) 三芳町不法投棄廃棄物撤去事業補助金交付要綱(令和4年7月29日告示第247号)は、効果を発揮しているか</p> <p>7) 申請主義がボトルネックになってはいないか</p> <p>8) 世界農業遺産認定を得たのだから、行政は農業、観光、教育、まちづくりなど様々な観点からもっとイニシアチブを発揮する必要があるのではないか</p> <p>①申請を待っているのではなく、現状の申請主義を生かす行政の積極的働きかけはどうか</p> <p>②「三芳町をきれいにする条例(平成28年6月28日条例第23号)」を世界・日本農業遺産認定にふさわしい大きな意味を持たせ発展的に改正するのはどうか</p> <p>③「三芳町農地及びあき地の雑草除去に関する条例(昭和50年6月25日条例第20号)の改正も考えた方がよいのでは</p>	<p>観光産業課</p> <p>環境課</p> <p>観光産業課</p>
--	--	--	--	--------------------------------------

		<p>2 公共交通計画策定への町の構えについて</p>	<p>ないか</p> <p>④環境課又は都市計画課の中に、即日対応する「まちをきれいにする専門の担当」（4人程度+資機材）を置く必要があるのではないか。世界農業遺産・日本農業遺産認定を受けた数少ない自治体として「ごみのない町」三芳といわれる町になることが当然のごとく求められているのではないか</p> <p>1) 前議会で、竹間沢方面のコミュニティバス運行について、計画づくりとともに並行的に試行運転することを求めたが、複数の重要政策（計画づくり）を同時に進める政策推進室に業務を集中するのは厳しいものがあるのではないか。</p> <p>2) 公共交通について、令和6年度の計画策定を待って、準備にまた年月がかかり8番線のように5年先などというのは許されない。早く着手できる方策が必要である。三芳町も、現実の事業面を切り離して、例えば道路交通課に担当を移すなど早期着手を求めたいがどうか。</p> <p>3) 70歳以上の人及び妊婦を対象に公共交通補助事業をやっているが、タクシー運賃の一部とライフバス回数券購入費の半額について領収書をもとに補助する制度だが、領収書を発行してもらわなければならないこと、貼付台紙に貼り付けること、振込先通帳の写しを添付すること、2通づくり専用封筒で郵送するか、役場・出張所にもっていくなどというのは時代遅れではないか。新座市は70歳、ふじみ野市65歳、和光市70歳以上は無料である。例えば写真付きパウチされたカード発行で「自由に乗れるサービス」をする構えを確立してほしいがどうか</p> <p>4) 1万円を限度額としているが、交通が四通八達している東京シルバーパス（26都電とバス・BRT、4都営地下鉄、日暮里・舎人ライナーに乗れる）が、平成30年度の数字で一枚当たり2万1千</p>	<p>環境課</p> <p>町長 政策推進室</p>
--	--	-----------------------------	--	--------------------------------

			円である。東京と三芳には交通手段の数の大きな差があり、無料カードでも三芳町の負担はそう大きくなりすむのではないか	
13	細谷 光弘	1 火災予防対策等について	<p>1) 町として現在取り組んでいる火災予防対策は</p> <p>2) 町内の公共施設や建物に設置された火災報知システムや消火設備の点検や保守、消火訓練の状況は</p> <p>3) 火災が起きた場合に家を失った住民への町のサービスについて</p> <p>①緊急避難所（宿泊場所）等の支援は</p> <p>②生活必需品などの支援は</p> <p>③財政的な支援は</p> <p>④住宅支援は</p> <p>⑤火災被害者に対する心理的なサポートや相談は</p> <p>⑥燃えてしまった住宅の片づけ費用などは</p> <p>4) 火災が起きた後、燃えた住宅をそのままの状態に放置してある家があるが、町ではどのように対応しているか</p> <p>5) 児童や生徒に対して学校での避難訓練以外に、自宅やその他の場所で火災が起きた場合などの避難の方法や火災予防教育については、どのような取り組みが行われているか</p> <p>6) 平成29年の「埼玉県三芳町倉庫火災を踏まえた防火対策及び消防活動のあり方に関する検討会報告書」を受けて</p> <p>①現在までに町の新たに出てきた倉庫などに対して、どのような指導や要望を行ってきたのか</p> <p>②倉庫開口部設定のための民間大型重機を保有している事業所との協定締結状況は</p> <p>③防火シャッターの作動状況の確認（障害物等）は</p> <p>④避難訓練実施状況は</p> <p>7) 火災警報器の町内の設置状況は（未設置の割合）</p> <p>8) 住宅用火災警報器購入補助金交付申請の過去5年間の件数は</p> <p>9) 火災警報器購入補助交付金について、何</p>	<p>自治安心課</p> <p>施設マネジメント課</p> <p>自治安心課 福祉課</p> <p>自治安心課</p> <p>学校教育課</p> <p>自治安心課</p>

			<p>故年間の予算がなくなり次第終了するのか</p> <p>10) 火災警報器設置推進の取り組みは</p> <p>11) 消防団、行政連絡区、消防署などと協力して、申請も含めワンストップで火災警報器を取り付ける取り組みが出来ないか</p> <p>12) 消防団について</p> <p>①町の消防団について定員が足りない所はあるか</p> <p>②消防団員のなり手不足の対策は</p> <p>③消防団装備について、不足している物はあるか</p> <p>④このまま更に消防団員が減って行く場合、町はどう対応していくのか</p>	町長
	2 世界農業遺産認定後の計画について	<p>1) 認定された、埼玉県武蔵野地域（川越市、所沢市、ふじみ野市、三芳町）それぞれの地域又は全体の今後の計画は</p> <p>2) 世界農業遺産に認定されたその価値や魅力を広めるために、今後どの様な取り組みをするのか</p> <p>3) ガイド付きツアーやワークショップの開催など考えているのか</p> <p>4) みよしまつりや産業祭などでは、何か特別な事を考えているのか</p> <p>5) 今後学校では、世界農業遺産についてどのように、教えて行くのか</p> <p>6) 実践農家に対して、今後どの様なサポートを考えているのか</p> <p>7) 実践農家の登録を増やしていく考えは</p> <p>8) 林（やま）のなら枯れが大分多くなってきているが、萌芽更新等に更なる補助金拡大等は考えているのか</p> <p>9) SDGsの観点からも、林（やま）の伐採した樹木などについての再利用の考えは</p> <p>10) 木材チップの堆肥利用に関しての補助は何故ないのか</p> <p>11) 世界農業遺産認定で、町長はどのような経済効果を町民や農家にもたらすと考えているか</p>	<p>観光産業課</p> <p>学校教育課</p> <p>観光産業課</p> <p>町長</p>	